



えり高進路だより

北海道えりも高等学校

進路指導部 第4号

発行：令和6年12月24日

文責：佐藤 実和子

令和7年度大学入学共通テスト出願者数増加

来年1月18日(土)、19日(日)の2日間、令和7年度大学入学共通テストが実施されます。今年度の出願者は49万5171人で、昨年度より3257人多い出願となっています。えりも高校からも複数名が受験します。冬休みを有効活用し、ラストスパートをかけてください。



えりも高校受験報告書からの分析

<進学>

12月も半ばとなり、本校生徒の推薦入試やAO入試などの進学試験がひと段落しました。12月23日(月)現在の専門学校・大学の合格内訳は、推薦入試(指定校、公募、AO、総合型選抜含む)利用が87.5%となっています。また、試験内容は面接やプレゼンテーション、小論文試験など多岐にわたっています。面接対策はもちろんのこと、小論文や作文も早期の対策が必要となります。

小論文では時事問題の出題(特にSNS関係)が多い傾向となっており、自分事として捉えたり他者の意見を共感したりする力も試されます。小論文に関しては、付け焼刃での対策は難しいと言えます。先生にお願いするだけでなく、早い段階から「小論文模試」の受験をお勧めします。次回の小論文模試は来年の6月です。どの学年も受けることができますので、挑戦してみてください。

<就職>

就職試験の傾向は、各種組合や公務員などでは作文課題が課されます。職務内容や自分自身のキャリアプランなどを600字~800字で書くことが多いようです。コロナ禍の面接の多くはオンラインでしたが、今年度は対面での実施がほとんどで、最大5名の面接官との面接試験があったようです。ここで必要なのは、自己分析です。就職に関しては「なぜ」「どうして」がキーワードとなります。自分がその業界・分野でどのように貢献できるかを、高校生活の中でイメージしましょう。

また、今年度はSPIやスカウター、SCOA-Cなど、一般教養だけでなく事務能力を測る試験が多い印象です。求人票を隅までチェックし、早期の対策が求められます。

1年生、2年生にとって今からできること

「進路活動は、今はまだ早い」と考えている人もいるかと思いますが、しかし、早すぎて困ることはありません。むしろ、遅すぎて後悔することの方が多くはずです。「やりたいことを決める」、「オープンキャンパスに行ってみる」、「受験勉強を始める」、スモールステップで構いません。今の自分ができることを無理なく始めてみましょう。そして、この冬休みは家族と、自分や将来について素直に話す時間を作ってみてください。